

特許第二六七〇號

第九十一類

出願 明治二十七年九月十三日
特許 明治二十九年一月二十七日
特許年限 十五年
存續期間 延長許可
存續期間 十年
明治四十四年二月二十八日

三重縣答志郡烏羽町百八十四番屋敷
特許權者 御木 本 幸 吉

明細書

眞珠素質被着法

本發明ハ人工眞珠培養法ニ改良ヲ加ヘ以テ使用スル所ノ核ニ眞珠素質ヲ良好ニ被着セシムヘキ方法ニ係リ其目的トスル所ハ第一眞珠層ノ附着ヲ平等ナラシメ第二各種ノ物質ヲ核トシテ用フルコトヲ得セシメ以テ眞珠ノ光澤ノ調子ヲ任意ナラシメ第三珠ト介殼トノ聯絡ヲ成ルヘク薄弱ナラシメ第四成ルヘク核ヲ吐出セシメサルニアリ

本發明ニ使用スル所ノ核ハ眞珠ト比重ノ著シキ差等ナキ物質即チ硝子、陶磁、器介殼又ハ下等ノ眞珠ヲ球形ノ小粒トナシテ能ク其面ヲ琢磨シ球形ノ儘又ハ粒ノ一小部分ニ截落シテ設ケテ其轉動ヲ防クヘクナシ而シテ之ヲ使用スルニハ前記小粒ノ多數ヲ入レタル器中ニ食鹽ヲ投シテ能ク振搖スルカ又ハ濃厚ナル食鹽水ニ浸シ「ピンセット」ニテ粒ヲ夾出シ生活セル眞珠介ノ外套膜ニ接シテ挿入スルナリ若シ眞珠介ヲ開クコトヲ難シトスルトキハ少時之ヲ水中ヨリ取出シテ其掣筋ノ弱ハリタルヲ候ヒ之ヲ開クモ可ナリ

眞珠ニハ露珠、銀珠、金珠等ノ稱アリテ各其光澤ノ調子ヲ異ニスルナリ故ニ若シ此等ノ別ヲ生セシメントスルトキハ核ノ質ヲ透明又ハ白色黃色等トナスコトニ因テ能ク其色澤ヲ變更シ得ルモノトス

前記ノ如クニ製作シタル核ヲ前記ノ如クニ使用スルトキハ其附着スル所ノ眞珠層一様ニシテ其反射力ニ差等ナキノミナラス介殼ト核トヲ眞珠素質ニテ聯絡着合セシムルコト厚強トナルコトナクシテ其分界著シクナルカ又ハ幾ント介殼ト着合セサル眞珠ヲ得ヘシ若シ

濃鹽水ニ浸サ、ル核ヲ介中ニ挿入センカ核ハ眞珠素質ヲ被スルコト遲緩ニシテ爲ニ核ノ面ニ眞珠素質ノ被ハル、コトナクシテ介殼外ニ吐出セラル、所ノモノ、割合増加スルノミナラス偶々介中ニ止マリテ眞珠層ヲ被ムルモノアルモ其介殼ニ接スル部分ノミ厚層トナリテ充分ニ目的ヲ達スル能ハサルモノトス

特許條例ニ依リ本發明ノ特許ヲ請求スル區域ハ左ノ如シ

- 一 本文所記第一乃至第四ノ目的ヲ達セシムルカ爲メ硝子、介殼又ハ此場合ニ在テ硝子、介殼ト均シキ用ヲナシ得ヘキ物質ヲ以テ球又ハ一所切落シノ球ヲ作り食鹽ヲ以テ之ヲ磨クカ又ハ濃厚食鹽水中ニ之ヲ浸シ然後生活セル眞珠介ノ中ニ挿入シテ眞珠素質ヲ被ラシムヘキ方法